令和８年度全国学力・学習状況調査の結果について

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、
○全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
○学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査実施日

○教科に関する調査(中学校英語以外)　：令和８年４月23日（木）
○中学校英語　生徒質問調査　　：令和８年４月20日（月）～23日（木）
（読むこと・書くこと・聞くこと）
○中学校英語（話すこと）　　：令和８年４月28日（火）～５月29日（金）
児童質問調査、後日実施の期間　：令和８年４月24日（金）～５月　８日（金）

３　調査対象

○小学校第6学年（16校）
○中学校第3学年（7校）

４　調査方法

（1）小学校
①教科に関する調査【国語、算数】：冊子を用いた筆記方式
②児童質問調査：オンライン方式

（2）中学校
①教科に関する調査【国語、数学】：冊子を用いた筆記方式
②教科に関する調査【英語】、生徒質問調査：MEXCBTを用いたオンライン方式

５　調査内容

（1）教科に関する調査【国語、算数・数学、英語】
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

（2）質問調査
①児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関すること）

②学校に対する調査（学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関すること）

6 教科に関する調査の結果

（1）習志野市・千葉県・全国の平均正答率

小 学 校	国 語	算 数
習志野市（%）	67.0	62.0
千葉県（公立）（%）	60.9	56.4
全国（公立）（%）	61.0	56.0

中 学 校	国 語	数 学	英 語
習志野市（%）	66.0	61.0	516
千葉県（公立）（%）	63.9	57.0	499
全国（公立）（%）	64.0	57.0	499

※中学校英語のみIRTスコアの平均

※IRT(項目反応理論)とは

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定精度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論

・IRTスコア：IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの

・IRTバンド：IRTスコアを1～5の5段階に区切ったもので、3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなる

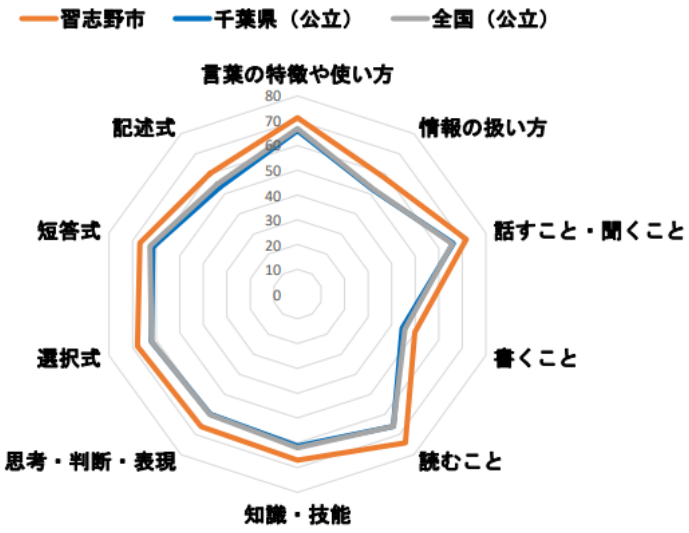
IRTバンド	1	2	3	4	5
IRTスコア	～350	350～450	450～550	550～650	650～

・IRTバンド集計値【中学校 英語】

	1	2	3	4	5
習志野市	2.9%	21.9%	42.1%	26.1%	7.0%
千葉県（公立）	4.6%	28.4%	38.9%	22.5%	5.6%
全国（公立）	4.7%	27.8%	38.1%	23.2%	6.3%

(2) 小学校【国語】

分類		区分	対象問題数(問)	平均正答率(%) 習志野市	千葉県(公立)	全国(公立)
全体			13	67.0	61.0	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	71.2	66.0	66.8
		(2)情報の扱い方に関する事	2	58.6	52.0	52.3
		(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	71.7	66.2	65.8
		B 書くこと	2	49.8	44.5	45.7
		C 読むこと	2	74.2	65.9	65.9
評価の観点		知識・技能	6	67.0	61.3	62.0
		思考・判断・表現	7	66.1	59.9	60.1
問題形式		選択式	9	67.9	62.0	61.9
		短答式	2	66.9	61.4	62.6
		記述式	2	60.1	53.3	54.9



概ね理解しているとみられる内容

◇文章を読んで理解した内容を、自分の経験と結び付けて考えをまとめる力

◇言葉の特徴や使い方に関する基礎的知識・理解（正答率 71.2%）

◇「話すこと・聞くこと」（正答率 71.7%）および「読むこと」（正答率 74.2%）に関する基礎的な読解力

→文章と経験を結び付けて考える力や、言葉の基礎的知識、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の力は、概ね身に付いる

課題があるとみられる内容

◆必要な情報を引用しながら、自分の考えが相手に伝わるように書き表す記述力（「書くこと」正答率 49.8%）

◆複数の資料を関連付け、それぞれの資料の関係性を捉えて整理する力

◆記述式問題において、条件や意図に合わせて論理的に表現する力（記述式 60.1%）

→必要な情報を引用して考えを伝える記述力や、資料を関連付けて整理する力、条件や意図に合わせて論理的に表現する力には課題がある

今後の取り組み

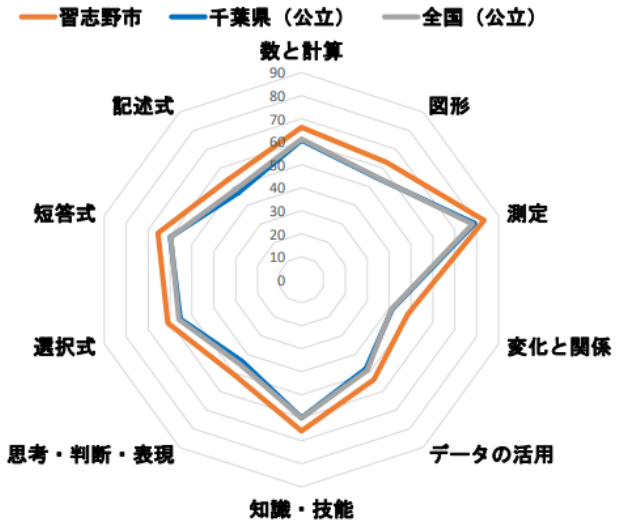
①複数の文章や図表を結び付けて読み、関係性を捉えながら要点をつかむ指導の充実【複数資料の関連付け読解】

②本文や資料から必要な情報を適切に引用し、自分の考えを明確に記述する活動の設定【根拠の引用と記述指導】

③板書で思考の流れや比較軸を可視化し、ペア対話等を通じて記述内容を推敲し合う活動の推進【学びモデル連動（発問・板書・ノート）】

（3）小学校【算数】

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体		16	62.0	56.0	56.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	66.2	60.6	61.1
	B 図形	4	63.0	55.0	55.3
	C 測定	1	83.4	79.1	78.1
	C 変化と関係	3	48.5	41.4	41.1
	D データの活用	4	53.6	47.7	48.6
評価の観点	知識・技能	12	65.7	60.0	60.1
	思考・判断・表現	4	50.5	43.8	45.4
問題形式	選択式	5	61.0	55.3	56.0
	短答式	8	65.5	59.9	59.7
	記述式	3	53.9	46.7	48.5



概ね理解しているとみられる内容

◇日常生活の場面から必要な情報を読み取り、数量を求める計算力

◇「数と計算」（正答率　66.2%）および「図形」（正答率　63.0%）の基礎的な知識・技能

◇「測定」に関する問題の理解と処理技能（正答率　83.4%）

→必要な情報を読み取って数量を求める力や、「数と計算」「図形」「測定」の基礎的な知識・技能は、概ね身に付いている

課題があるとみられる内容

◆割合の関係を図（テープ図・数直線など）で正しく表す力。

◆二次元の表から条件に合う情報を的確に読み取ること（「変化と関係」正答率48.5%、「データの活用」53.6%）。

◆数量関係を整理し、式や言葉を用いて理由や考えを説明する記述力（記述式53.9%）

→割合を図で正しく表す力や、表から条件に合う情報を的確に読み取る力、数量関係を整理して理由や考えを説明する記述力に課題がある

今後の取り組み

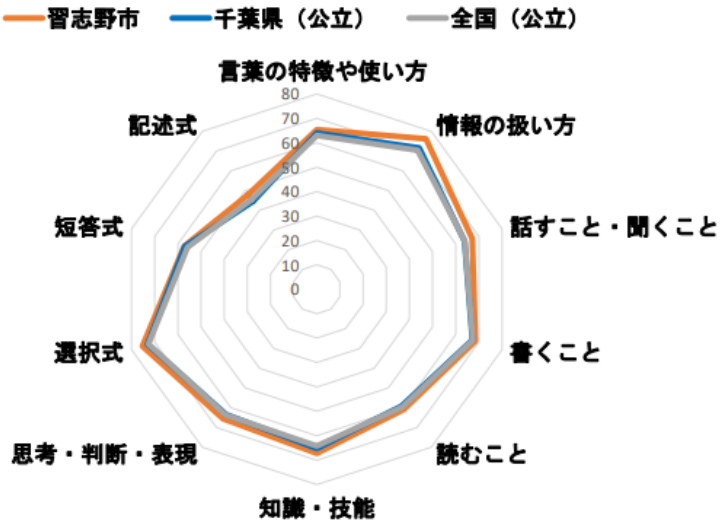
①表や図から必要な情報を整理し、数量の関係を視覚的に捉えさせる指導の充実【図・表を用いた関係把握】

②数・図・言葉を行き来しながら、自分の考えの根拠を式や言葉で他者に説明する場面の設定【数学的説明活動の充実】

③１人１台端末の思考ツールやノート指導を活用し、試行錯誤の過程（プロセス）を可視化して認め合う指導の実践【思考ツールの活用】

（5）中学校【国語】

分類		区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体			15	66.0	64.0	63.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	65.4	64.0	63.0
		(2)情報の扱い方に関する事	1	76.2	71.6	70.4
		(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	67.1	63.8	63.9
		B 書くこと	3	68.5	67.2	67.4
		C 読むこと	3	60.8	59.2	59.7
評価の観点		知識・技能	6	67.2	65.2	64.2
		思考・判断・表現	9	65.5	63.4	63.7
問題形式		選択式	9	75.3	73.1	72.7
		短答式	3	57.2	56.9	55.8
		記述式	3	47.9	44.5	45.5



概ね理解しているとみられる内容

◇漢字の読み書きや語句、表現の工夫を捉える力

◇話合いの話題や展開を的確に捉える力（「話すこと・聞くこと」正答率 67.1%）

◇「情報の扱い方に関する事項」（正答率 76.2%）の理解

→漢字の読み書きや語句、表現の工夫を捉える力、話合いの話題や展開を的確に捉える力、「情報の扱い方に関する事項」の理解は、概ね身に付いている。

課題があるとみられる内容

◆文章全体の文脈や前後のつながりから語句の適切な意味を捉えること

◆文章を読んで、根拠を明確にしながら自分の考えを説明・論述する力（記述式 正答率 47.9%）。

◆多様なものの見方や考え方に着目して、文章を深く読み味わう力

→文章の文脈やつながりから語句の意味を捉える力や、根拠を明確にして自分の考えを論述する力、多様な視点で文章を深く読み味わう力に課題がある

今後の取り組み

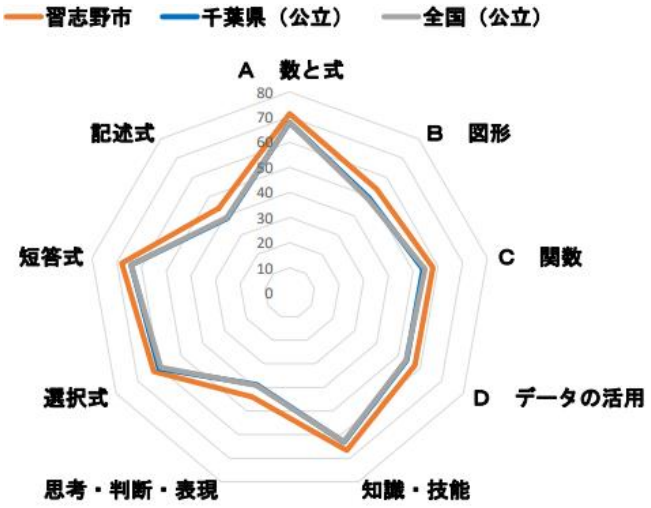
①前後の文脈やつながりに着目して語句の意味を的確に捉える指導の徹底。【文脈や叙述に着目した読解】

②叙述や本文の根拠を明らかにして自分の考えをまとめ、記述・説明する学習活動の充実【根拠を明確にした論述指導】

③記述した内容を生徒同士で読み合い・比較検討させ、より分かりやすく説得力のある説明に練り上げる協働学習の推進【相互検討と推敲活動】

（6）中学校【数学】

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
全体		16	61.0	57.0	57.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	71.3	67.8	67.8
	B 図形	4	53.9	49.3	48.7
	C 関数	3	58.0	54.0	54.8
	D データの活用	4	57.6	53.8	53.5
評価の観点	知識・技能	12	66.7	63.2	63.0
	思考・判断・表現	4	44.0	38.8	39.1
問題形式	選択式	3	62.6	60.1	59.3
	短答式	9	68.0	64.2	64.2
	記述式	4	44.0	38.8	39.1



概ね理解しているとみられる内容

◇「数と式」領域を中心とする基礎的・基本的な計算や知識・技能（正答率 71.3%）

◇「図形」（正答率 53.9%）や「データの活用」（正答率 57.6%）における基礎的処理

◇短答式問題に対する正確な求値・処理技能（短答式 68.0%）

→「数と式」の基礎的な計算や知識、「図形」「データの活用」の処理、短答式問題の求値・処理技能は概ね身に付いている

課題があるとみられる内容

◆根拠を明確にして、数学的な表現（数・式・図・言葉）を用いて筋道立てて説明する力（思考・判断・表現 44.0%、記述式 44.0%）

◆事象を数学化し、関数や図形等の性質を活用して課題を解決・構想する力

◆問題解決の過程を振り返り、得られた結果や方法の意味を吟味・統合する力

→数学的表現で説明する力や、事象を数学化して課題を解決する力、結果を振り返り吟味する力に課題がある

今後の取り組み

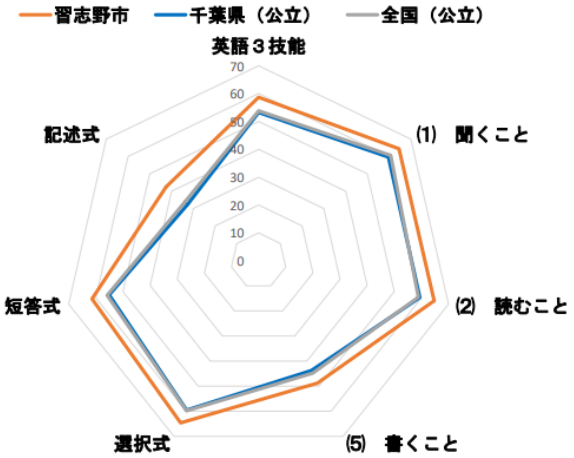
①自分の考えの根拠を明らかにし、論理的に説明・表現する活動の充実【数学的表現による説明活動】

②生徒が作成した記述や解法を黒板や ICT 画面で共有・比較し、より良い表現を練り合う場の設定【生徒同士の比較・検討】

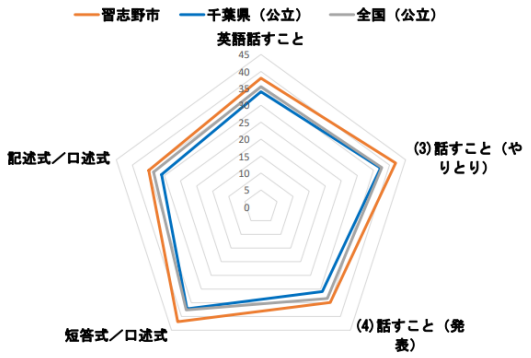
③正答だけでなく、筋道立てて考えようとした工夫や試行錯誤の過程を言語化して認める指導の実践【思考プロセスの承認】

（7）中学校【英語】

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
英語３技能（公開問題のみ）		16	59.0	53.0	53.8
学習指導要領の領域	（１）聞くこと	5	61.4	59.7	60.7
	（２）読むこと	5	63.3	59.4	58.9
	（５）書くこと	6	50.5	43.8	44.8
問題形式	選択式	10	62.4	59.5	59.8
	短答式	2	61.4	55.1	55.8
	記述式	4	39.5	32.5	33.8



分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%） 習志野市	千葉県（公立）	全国（公立）
話すこと（公開問題のみ）		7	38.0	34.0	35.5
学習指導要領の領域	（３）話すこと（やり取り）	3	41.9	37.2	37.6
	（４）話すこと（発表）	4	34.9	30.9	33.4
問題形式	短答式／口述式	3	41.9	37.2	37.6
	記述式／口述式	4	34.9	30.9	33.4



概ね理解しているとみられる内容

◇身近な話題について、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりする力（「聞くこと」正答率 61.4%、「読むこと」63.3%）

◇身近な話題について、必要な情報を基に英語でやり取りする基礎的な対話力（話すこと「やり取り」41.9%）

→身近な話題の情報を聞き取り、読み取り、英語でやり取りする基礎的な力は概ね身に付いている

課題があるとみられる内容

◆まとまりのある英文を読み、要点を捉えた上で、自分の考えや理由を書く表現力（記述式正答率 39.5%、「書くこと」50.5%）

◆伝えたい内容を整理し、自分の考えや理由を英語でまとまりよく話す・発表する力（話すこと「発表」正答率 34.9%）

→英文の要点を捉え、自分の考えや理由を表現する力や、内容を整理して英語でまとまりよく話す・発表する力に課題がある

今後の取り組み

①英文から要点を読み取り、本文の内容を根拠として自分の考えや理由を英語で書く・話す活動の充実【本文を根拠とした意見発信】

②伝えたい内容のキーワードや構成を整理させた上で、まとまりのある文章やスピーチへ広げる支援の導入【段階的なアウトプット指導】

7 児童生徒質問調査の結果（抜粋）

（1）ICT活用

①あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
とてもそう思う	49.5	48.1	46.0	70.0	65.9
そう思う	29.6	30.1	31.2	66.2	61.3
あまりそう思わない	10.0	10.7	10.9	60.2	53.0
そう思わない	3.8	4.2	4.1	56.7	51.9
無回答	7.1	6.9	7.7	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
とてもそう思う	52.6	50.8	46.0	70.2	66.2	538
そう思う	32.2	32.9	36.1	65.7	59.4	505
あまりそう思わない	8.7	9.4	10.4	60.9	56.0	496
そう思わない	2.9	3.2	4.4	56.5	46.5	451
無回答	3.6	3.7	3.2	－	－	－

②あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
とてもそう思う	59.4	59.2	59.7	68.5	64.4
そう思う	25.5	25.5	25.1	65.4	60.2
あまりそう思わない	5.7	5.9	5.9	61.8	53.0
そう思わない	1.8	2.0	1.3	49.6	46.5
無回答	7.6	7.4	8.0	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
とてもそう思う	64.2	63.4	59.5	68.3	63.4	524
そう思う	26.7	27.2	30.7	65.8	59.1	512
あまりそう思わない	4.1	4.2	5.1	57.9	59.2	492
そう思わない	1.2	1.2	1.4	59.2	51.5	461
無回答	3.9	4.0	3.4	－	－	－

③あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
とてもそう思う	32.8	31.8	30.8	68.3	67.2
そう思う	36.7	36.4	35.4	68.2	61.8
あまりそう思わない	17.9	19.1	20.0	64.6	57.8
そう思わない	4.8	5.2	6.2	60.5	54.9
無回答	7.8	7.5	7.6	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
とてもそう思う	32.0	29.6	24.4	67.5	64.6	532
そう思う	37.4	36.7	35.6	68.5	63.9	524
あまりそう思わない	20.9	23.3	27.2	66.0	58.9	506
そう思わない	5.7	6.4	9.7	61.0	53.7	490
無回答	4.0	4.0	3.1	－	－	－

④あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
とてもそう思う	44.9	48.0	54.7	69.3	65.5
そう思う	29.7	28.6	26.2	66.1	60.1
あまりそう思わない	13.0	11.5	8.4	58.3	53.7
そう思わない	4.7	4.6	3.1	54.2	46.3
無回答	7.7	7.4	7.7	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
とてもそう思う	46.4	47.1	44.2	69.9	65.9	536
そう思う	33.6	33.6	34.7	65.8	59.8	511
あまりそう思わない	11.6	11.3	12.5	63.9	59.0	493
そう思わない	4.3	4.0	5.5	54.2	44.0	461
無回答	4.0	3.9	3.1	－	－	－

ICT 活用に関する回答では、「とてもそう思う」とする割合が県や全国を下回る項目が見られました。一方で、ICT 活用に前向きな児童生徒ほど平均正答率や IRT スコアが高い傾向が見られます。このことから、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の充実に向け、ICT の利活用を一層進める授業改善が必要であると考えられます。

(2) 主体的・対話的で深い学び

①小学5年生まで［中学1・2年生のとき］に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
発表していた	25.8	25.8	24.4	70.9	69.6
どちらかといえば、発表していた	40.6	41.2	43.4	67.0	62.4
どちらかといえば、発表していなかった	23.4	22.9	20.7	63.6	57.4
発表していなかった	8.0	7.7	9.3	63.0	52.4
考えを発表する機会はなかった	1.7	1.7	1.8	51.5	46.4
無回答	0.5	0.6	0.4	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
発表していた	22.6	21.4	15.0	71.6	67.7	542
どちらかといえば、発表していた	42.9	41.9	39.7	68.9	65.0	526
どちらかといえば、発表していなかった	22.9	23.9	28.2	64.0	58.7	504
発表していなかった	8.8	9.7	13.3	60.5	52.4	490
考えを発表する機会はなかった	2.4	2.6	3.1	69.1	61.6	517
無回答	0.4	0.6	0.7	－	－	－

②小学5年生まで［中学1・2年生のとき］に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
当てはまる	28.3	27.1	26.4	71.1	69.8
どちらかといえば、当てはまる	49.3	49.4	50.1	66.9	61.5
どちらかといえば、当てはまらない	17.4	18.2	18.6	61.9	54.8
当てはまらない	2.8	3.2	3.8	56.6	50.4
無回答	2.2	2.1	1.1	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
当てはまる	27.0	25.9	21.6	73.4	70.4	559
どちらかといえば、当てはまる	51.8	52.2	52.4	67.5	63.4	519
どちらかといえば、当てはまらない	17.4	18.1	21.4	60.3	52.0	480
当てはまらない	2.9	2.8	3.4	53.3	41.3	451
無回答	0.9	1.1	1.1	－	－	－

③小学5年生まで［中学1・2年生のとき］に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
当てはまる	26.9	25.3	24.0	70.1	67.9
どちらかといえば、当てはまる	46.5	46.8	46.5	66.4	61.5
どちらかといえば、当てはまらない	19.1	20.2	21.3	65.0	58.0
当てはまらない	3.5	4.1	4.1	58.3	51.7
無回答	4.0	3.7	4.1	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
当てはまる	23.1	21.9	20.2	71.7	68.4	552
どちらかといえば、当てはまる	47.7	47.5	45.1	67.1	63.8	521
どちらかといえば、当てはまらない	21.6	23.0	25.8	64.2	56.5	500
当てはまらない	4.4	4.6	5.2	61.3	50.0	460
無回答	3.2	3.0	3.8	－	－	－

④学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
当てはまる	43.5	41.4	41.5	68.1	64.8
どちらかといえば、当てはまる	42.2	43.2	43.5	67.2	61.1
どちらかといえば、当てはまらない	10.6	11.3	11.3	62.0	57.1
当てはまらない	2.4	2.7	2.7	59.6	59.5
話し合う活動を行っていない	0.7	0.8	0.7	49.0	38.1
無回答	0.6	0.6	0.3	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
当てはまる	39.6	37.4	34.3	69.3	65.0	535
どちらかといえば、当てはまる	47.4	48.7	50.8	67.0	62.3	516
どちらかといえば、当てはまらない	9.1	9.8	11.1	61.3	55.1	483
当てはまらない	2.3	2.4	1.8	60.0	42.8	477
話し合う活動を行っていない	1.1	1.0	1.6	48.3	42.2	467
無回答	0.5	0.7	0.5	－	－	－

⑤授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
当てはまる	35.0	32.7	30.6	68.6	65.7
どちらかといえば、当てはまる	45.8	46.4	47.0	66.6	61.4
どちらかといえば、当てはまらない	14.5	15.7	17.9	66.1	60.9
当てはまらない	3.1	3.7	4.0	57.0	48.3
無回答	1.6	1.6	0.6	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
当てはまる	28.3	26.2	25.1	69.4	65.4	531
どちらかといえば、当てはまる	49.7	49.8	48.2	66.5	61.5	519
どちらかといえば、当てはまらない	17.1	18.8	20.9	65.8	60.9	504
当てはまらない	3.9	4.1	4.9	60.1	50.8	483
無回答	1.0	1.1	1.0	－	－	－

⑥授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
当てはまる	52.7	50.5	46.8	68.1	63.5
どちらかといえば、当てはまる	38.7	40.0	43.4	66.4	61.9
どちらかといえば、当てはまらない	5.5	6.4	6.6	62.1	55.7
当てはまらない	1.3	1.6	1.9	61.5	58.0
無回答	1.8	1.5	1.3	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア（英語３技能）		
				国語	数学	英語
当てはまる	49.0	46.9	43.7	67.6	62.5	526
どちらかといえば、当てはまる	43.4	44.5	47.0	66.7	62.4	513
どちらかといえば、当てはまらない	5.0	5.8	6.3	64.6	55.6	495
当てはまらない	1.4	1.5	2.0	57.4	54.1	491
無回答	1.2	1.2	1.0	－	－	－

主体的・対話的で深い学びに関する質問では、「できている」「当てはまる」「発表していた」と答えた児童生徒が県や国より少ない傾向にあります。このことから、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、児童生徒が自ら考える場面、対話や協働の場面、学びを活用する場面を意識した授業改善が必要であると考えられます。

(3) 自己有用感

①自分には、よいところがあると思いますか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
当てはまる	43.6	43.0	41.6	67.9	65.0
どちらかといえば、当てはまる	42.0	42.3	43.2	65.9	60.6
どちらかといえば、当てはまらない	9.8	9.9	10.8	66.1	59.2
当てはまらない	4.3	4.4	4.1	63.1	53.2
無回答	0.3	0.3	0.3	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア(英語3技能)		
				国語	数学	英語
当てはまる	41.0	39.4	35.1	67.5	62.8	519
どちらかといえば、当てはまる	43.0	43.1	44.1	67.0	62.5	523
どちらかといえば、当てはまらない	11.3	12.1	16.5	65.0	59.2	506
当てはまらない	4.3	5.0	4.1	64.2	53.1	475
無回答	0.2	0.3	0.2	－	－	－

②先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

小学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%)	
				国語	算数
当てはまる	53.4	50.5	44.8	66.4	62.5
どちらかといえば、当てはまる	38.0	40.0	44.6	67.2	62.2
どちらかといえば、当てはまらない	6.1	6.7	7.4	65.2	58.5
当てはまらない	2.1	2.4	3.0	64.0	58.1
無回答	0.5	0.5	0.2	－	－

中学校	全国(公立)(%)	千葉県(公立)(%)	習志野市(%)	習志野市の平均正答率(%) IRTスコア(英語3技能)		
				国語	数学	英語
当てはまる	46.7	45.5	37.5	68.2	64.1	528
どちらかといえば、当てはまる	44.2	44.7	51.3	67.1	61.9	517
どちらかといえば、当てはまらない	6.4	6.8	8.3	62.5	54.6	480
当てはまらない	2.3	2.5	2.2	53.3	51.4	478
無回答	0.3	0.4	0.6	－	－	－

自己有用感に関する質問では、児童生徒の肯定的な回答が県や全国平均を下回る傾向が見られます。特に、「自分にはよいところがある」「先生が自分のよいところを認めてくれている」と感じる割合が低く、自己肯定感の向上が課題です。

また、自己有用感が高い児童生徒ほど、平均正答率やIRTスコアが高い傾向も見られます。今後は、児童生徒一人一人の良さや努力を認める取組を充実させ、自己有用感と学習意欲を高めることが必要であると考えられます。